



ICT活用など学ぶ 教職員が夏季研修会

大館市教委

大館市教育委員会の教職員
夏季研修会がこのほど、秋田
職業能力開発短期大学校とほ
くしか鹿鳴ホールを会場に開
かれ、市内の教職員約270
……
ICT活用の講座を受講する
大館市の教員たち（秋田職能
短大）

人がICT活用や特別支援教
育、伝統文化体験などの各講
座で研さんを深めた。

新たな知識の獲得や専門性
の向上などを狙いに、夏休み
期間を利用して毎年開かれて
いる。

今年は講話や演習など90分
の4コマ、全17講座を設定
し、参加者たちが2講座以上
を選んで受講した。

中でも人気が高かったの
は、ICT活用のためのパソ

コン講座や文科省の「小学校
プログラミング教育の手引
き」に基づく実習。比内支援
学校と共催した発達障害のあ
る子どもの理解、幼稚園・保
育園・小学校の連携など。

このうちICT活用の講座
には約70人が参加。授業支援
の専用アプリケーション「ロ
イロノート」を実際の授業に
導入する方法や活用について
学んだ。

ロイロは、政府のGIGA

スクール構想に基づき配布さ
れたタブレット端末で使用す
るための専用アプリで、昨年
度から城南小学校に試験的に
導入されている。

児童生徒の頭の中にある意
見やアイデアを画面上の「カ
ード」で視覚化し、それを全
員で共有することで、考えを

深めることができるという。

担当者は「ロイロは動作が
軽いため、50人で作業をして
も問題ない」などと手軽さを
アピール。参加者たちはさま
ざまなツールを試したり、質
問を投げかけたりしながら
ながら、具体的な活用方法を模
索していた。